



2017年12月7日

三井化学アグロ株式会社

三井化学アグロと BASF が新規作用性殺虫剤の商業化契約を締結

～新規作用性殺虫剤で世界の食糧生産・生活環境の向上に貢献～

三井化学アグロ株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：谷 和功、以下三井化学アグロ）と BASF（ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン、取締役会会長：Dr.クルト・ボック、以下 BASF）は、三井化学アグロが発明し、両社が共同開発した新規殺虫剤であるブロフラニリド（Broflanilide）の長期商業化契約を締結しました。本契約は、2014年6月11日に発表した両社の独占的グローバルライセンス開発契約に続くものです。三井化学アグロは日本・アジア、BASF は欧米を中心とした地域に販売権を有し、両社はグローバル・マーケットにおいてブロフラニリド製品の価値の最大化を図るべく、協業を進めてまいります。

三井化学アグロが開発中の新規五原体の一つであるブロフラニリドは、当社の持つ分子デザイン・有機合成技術から生まれた全く新しい作用性を持つ殺虫剤で、既存剤に抵抗性を持つ害虫にも有効であり、農家や害虫駆除業者に対して非常に効果的な害虫防除のソリューションを提供します。また、害虫の抵抗性管理に有効なローテーション使用の一剤としても、重要な役割を果たします。

適用対象例	<ul style="list-style-type: none"> ・葉菜類、果菜類、マメ類、ワタ、トウモロコシ、イネ等穀類、果樹など ・住宅地などでの害虫駆除
対象害虫例	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物で問題となる多くの害虫（チョウ目、コウチュウ目など） ・生活環境で問題となるシロアリ、アリ、ゴキブリ、ハエ、蚊など



調印式の様子（左より、当社 谷社長、BASF 農薬事業本部プレジデント ヘルド氏）



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>

なお、世界的な農薬工業会である Crop Life International 傘下の殺虫剤抵抗性対策委員会 (Insecticide Resistance Action Committee、以下 IRAC) は、プロフラニリドが新規の作用性を持つ事から、新たに作用機構分類であるグループ 30 (GABA-gated Cl⁻ channel allosteric modulators) を設定しました。現時点でプロフラニリドは IRAC のグループ 30 に属する唯一の有効成分です。

三井化学アグロは、本剤を通じて BASF とグローバルに提携することで海外事業の展開を加速するとともに、世界の食糧生産・生活環境の向上に貢献して参ります。

なお、プロフラニリド製品の最初の上市は 2020 年を予定しています。

三井化学アグロ株式会社 総務部 (TEL : 03-5290-2700)